

外来種駆除方法の紹介

資料作成、編集 なたね通信

本冊子は、特定外来生物及び要注外来生物など地域の生態系に影響を与える生物を効果的に駆除または抑制するために、過去の実証実験結果をもとに、効率的な方法を紹介するものです。あくまで、個別事例を整理した方法が紹介されていますので、完全な方法ではありません。駆除等を行う環境に合わせた取組に活かしていただければ幸いです。

外来種による日本の自然への影響

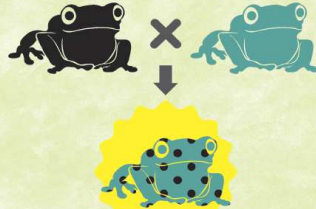
*生態系の破壊

外来種が日本に定着する事で日本に元々生息していた生物（在来種）の生息域が奪われたり、外来種により食べられてしまったり、日本本来の生物の生活が脅かされ、生態系が破壊されてしまう危険性があります。

【捕食】在来種を食べる

【競争】在来種の生息・生育環境を奪ってしまったり、餌の奪い合いをする

【遺伝的攪乱】近縁の在来種と交雑して雑種を作る



特定外来生物法について

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
平成17年6月 特定外来生物法施行(環境省)
生態系、人の生命・身体・農林水産業への被害防止
生物の多様性の保護/人の生命・身体保護/農林水産業の健全な発展
/国民生活の安定向上

法律上の罰則

特定外来生物は、たとえば野外に放たれて定着してしまった場合、人間の生命・身体、農林水産業、生態系に対してとても大きな影響を与えることが考えられます。違反内容によっては非常に重い罰則が課せられます。

| 分類 | 輸入関係 | 販売関係 | 飼養関係 | 放出関係 |
|-----------------------|--------------|-------|--------------|-------|
| 罰則（懲役または罰金） ※法人の場合 | 5千万円以下～1億円以下 | 1億円以下 | 5千万円以下～1億円以下 | 1億円以下 |

【出典】環境省ホームページ：<http://www.env.go.jp/>

特定外来生物法による規制

※研究の為など特別な許可を受けている場合を除きます。
また、許可を得ている場合であっても拡散防止などの対応策が必要です。



植物

オオカワヂシャ、オオフサモ

ポイント: 伐根する 根を水中に残さないようにする

注意点: 川の水深を確認する。川に降りる際に足元に気を付ける
手袋など装着すると手を保護し、けが等を防止できます



参考 オオフサモ写真



比較的水深が浅い河川で見られる。生息が拡大するとゴミ等が引っかかるなどして水をせき止めてしまうこともある。

魚類
両生類

ため池版
ウシガエル
オオクチバス、ブルーギル、カダヤシ

ポイント: 池の水を完全に抜く。在来種に配慮する
 注意点 : 外来種が流出しようないようにする。右ページ参照
 専用の装置を使用することもできる。
 在来種をどう保全するか手段を明確にしておく
 外来種を殺処分する際は、倫理的に配慮する
 殺処分した外来種は、密封し、処分する



水深等危険の確認



排水経路の確認



外来種流出対策



排水 ※外来種はネットでうける



外来種捕獲



在来種、外来種仕分け



在来種は、保全



殺処分(天日干し)

一般廃棄物
として処分

外来種流出防止対策

このような装置もある

三段階の異なる目合いを設置することで、目詰まりせず
小型の生物の流出を防ぎます

0.15mm~1cm 程度の魚まで除去できます



外来種流出防止対策



外来種が流出すると処罰の対象となることがあるので
注意すること。排水を定期的に調べるなどすると良い

魚類
両生類

河川版
ウシガエル
オオクチバス、ブルーギル、カダヤシ

ポイント 潜んでいる場所を重点的に取り組む
 注意点 水深や河川の地形、流量に注意する。川底は滑りやすい。



投網による捕獲



外来種捕獲

一般廃棄物
として処分